



THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU

WEEKLY REPORT No.1113

名古屋大須ロータリークラブ



<本年度会長方針> 夢や希望を語り合おう

地域を育み、大陸をつなぐ

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 岩崎 征一 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 松本 哲朗 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

<2010-2011年度 R.I.テーマ>

R.I. 会長 レイ・クリンギンスミス
Ray Klingensmith

第1310回例会

雑誌月間

平成23年4月7日(木)

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 61名

51名中43名出席

出席率 84・31%

前々回出席率 92・31%

前々回出席率 92・31%

ロータリーソング

「君が代」「ROTARY-ARY」

指揮者 鬼頭 茂成

ピアノ伴奏 富板 玲子

ニコボックス

小笠原さん、尾上さん、家族旅行
ありがとうございました。

初孫が生まれました。 岩崎 征一
杉本 英夫

先日の家族旅行は楽しめました。
お茶会ありがとうございました。

妻の誕生日です。 宇野 史仁
浅野 彰

おとこいお誕生日を迎えました。
又一つ大人の階段登りました!!

4月7日は断酒して3年になりました。
川口 小折

小野 定男

会長挨拶

会長 岩崎 征一

愛知厚生年金会館

愛知厚生年金会館は、厚生年金
保険の加入者・受給者の福祉を増
進する事を目的に、宿泊・宴会、



1666人
収容のホー
ル、体育館
カルチャー
スクールの
機能を兼ね
備えた総合施設として昭和55年
(1980)に地下鉄池下駅に隣
接して建てられました。

北側の住宅地への日影を最小限
にする為に大きく斜めに取った屋
根が特徴です、タイル貼りの落ち
着いた外装とともに、大規模な施
設でありながら、周囲の環境に圧
迫感を与えないことなぐ町並みにう
まく溶け込んでいると思います、
今現在取り壊しは完了し、跡形も
御座いませんが大変残念に思いま
す。

設計した伊藤喜一郎氏は日本大
学を卒業後、大成建設などを経て
設計事務所を設立。大規模な医療
施設を得意とし、
国立身体障害者リ
ハビリセンター
や神戸市立中央市
民病院などの作品
を残しました。

同好会PR
映画同好会幹事 照井 菜
前回の同好会PRの時に、杉本
さんが「囲碁同好会は一度も会を
開いていない唯一の同好会です。」
と話していました。

映画同好会も未だ
に集まりを聞いて
いません・・・。
「映画好きなら
メンバーが気楽に集まって映画に
ついて・好きな映画俳優や映画音
楽について語り合えたら楽しいの
では・・・。」
と作った同好会です。

映画というのは、
◎スクリーンの中で非現実の世界
に入り込める楽しさ
例えば、雨の中でタンダンス
を踊ったり、恐竜たちに追いつけ
られたり、8日間で世界一周して
みたり、タイタニック号で航海し
たり・・・

◎ストーリーからいろいろなこと
を考える脳内活性化に役立ったり
◎ラストシーンの素晴らしいさや、
映画で流れる音楽に感動したり
とても心を乗らかくなるものだ
と思います。

映画同好会の参加資格は映画に
興味がある方。
近い内にこの案内を差し上げます
ので、お気軽に参加下さい。映画
の話を中心に
美味しいお
酒とお料理
を楽しむ会
を開く予定
です。

国際ロータリー・ニュース

2011年4月8日

ロータリアンと学友が

地震災害の被災者救済に乗り出す

行方不明者を含め、大勢の犠牲
者を出している大地震と津波の被
災者を助けようと、ロータリアン
は、あらゆる手段を用いて支援活
動に乗り出しています。

大災害の知らせを受け、ロータ
リー財団は3月11日、長期の復興
支援プロジェクトを行うために「ロ
ーター日本地震災害復興基金」
を設置しました。現時点までに、50
万ドルを超える義援金が寄せられ
ています。

海外のロータリー関係の人々か
ら応援をいただき、とても励まさ
れていると、東京ロータリー・ク
ラブの茂木友三郎会長は述べます。
「日本人は、この大災害をきくと
乗の越えると信じています。さま
ざまな困難にも打ち勝つことがで
きると、希望を抱いています」

日本の地区ガバナーは、被災地
区のガバナーに義援金を送るため
の募金を行っています。日本への
支援は、ぜひ財団の災害復興基金
に寄付していただきたいと、茂木
会長は述べます(ロータリアンを
含む)ごなたでも、オンラインで寄
付できます。

震災の一週間後、「ロータリー日
本地震災害復興基金」からの補助
金を受けた最初のマッチング・グ



ラント・プロジェクトが承認されました。第3350地区(カンボジア、タイ)と第2800地区(茨城県)のクラブが参加するこのプロジェクトでは、合計65,650ドルの資金を活用し、茨城県で避難生活を送る15,000人の被災者のために食糧と飲料水が提供されます。

ほかに、被災者を支えるさまざまな活動が行われています。

▽日本国内の3つのロータリー地区は、地区資金を利用して支援にあたっています。第2610地区(石川県、富山県)は、被災者支援緊急プロジェクトを立ち上げ、被災地から避難してきた人々を支援しています。第2840地区(群馬県)は、会長エリート研修セミナーの日程を2日間から半日に短縮し、セミナー用の残余資金を救援活動の資金に充てました。第2680地区(兵庫県)は、地区大会の際に義援金の募金箱を設置し、復興活動のための7,500ドルを集めました。



写真提供：東京ロータリー・クラブ



▽東京ロータリー・クラブは、「Cheer Tokyo」(東北を応援しよう)プロジェクトに乗り出し、ツイッターに被災者への応援メッセージを書き込むよう、世界中のロータリーに呼びかけ、短いメッセージが記された紙を持ったロータリー・クラブたちの写真をツイッターに掲載しました。被災地の人々に気持ちを伝えるために、世界に広がるロータリー・クラブのネットワークを利用してできるかもしれない、高橋クラブ会長は考えたとです。

▽明石西ロータリー・クラブ(兵庫県)は、自家用機を用いて医療品を空輸し、須賀川ロータリー・クラブ(福島県)がそれらの物資を福島空港近くの病院へと運びました。また第2640地区(和歌山県、大阪府の一部)のカバナーと6人のロータリアンが、毛布1,000枚を福島県のロータリアンに届けました。

ロータリー財団学友が

支援活動を展開
ロータリー財団学友プログラムも、日本の復興活動に参加しています。

▽2004年の津波災害を経験した第3330地区(タイ)のロータリアンとその友人たちは、津波災害の対応にいち早く乗り出しました。地区内のロータリー財団学友会は、ロータリー・クラブと協力し、15,000ドルの募金を集めました。

▽大地震が発生した3月11日、第6450地区(米国イリノイ州)から派遣された研究グループ交換(GSE)チームは東京都内に滞在していました。日本のロータリアンは「信じられないほど親切、寛大に対応してくれました」と、チームリーダーのポプ・ブランクバーンさんは振り返ります。

またロータリアンは地震発生時、またその後も常にメンバーの健康を気遣い、無事に帰国できるよう手配してくれました。「妻と私は、第2750地区(東京および太平洋諸島)に送る支援金として500ドルを寄付するよう決め、これに寄付を上乘せようというエストモント・ロータリー・クラブに呼びかけたところ、クラブが4,500ドルを寄付してくれました。やはりGSEメンバーからの4,250ドルが追加されました。緊急な支援が必要なときに、いつでも協力してくれるのがロータリアンです」

▽第5450地区(米国コロラド州)の元GSEメンバーを含む多くの人たちも支援に加わっています。「私たちの地区は昨年、仙台的のGSEチームと交換を行いました。被災した友人のことを思い、とても胸を痛めています」と、パスト・ガバナーのマイク・オールドハムさんはつらい胸中を語っています。

▽元ロータリー平和フェローの福原美穂さんは、現在、ニューヨークにあるユニセフ本部での国連職務を一時的に休止し、日本にあるユニセフの委員会に加わって5週間の活動を行っています。

「緊急対応支援のために日本に派遣されるなんて、思ってもみませんでした」と、以前イラクでの平和構築活動に参加した福原さんは述べます。「被災状況は実に痛ましいものですが、できる限りのGSEを返すたいと思います」

訳者注／引用はすべて英語から翻訳されたもの
(記事 Ryan Hyland, Dan Nixon)

http://www.rotary.org/ja/MediaAndNews/News/Pages/110325_news_response.aspx

4月21日(木)例会の案内

地区協議会報告

- 次年度クラブ奉仕委員長 松本 哲朗さん
- 次年度職業奉仕委員長 前田 隆久さん
- 次年度社会奉仕委員長 照井 菜穂さん
- 次年度国際奉仕委員長 加藤口千彦さん
- 次年度新世代奉仕委員長 渡辺 観水さん

広報委員会

- 近藤 明美・前田 隆久
- 近藤宏一郎・杉浦 令淑
- *本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。